

高知大学 moodle2017利用状況レポート

■ 大学連携 e-Learning 教育支援センター四国高知大学分室

高知大学は、『四国における e-Knowledge を基盤とした大学間連携による大学教育の共同実施(知プラ e 事業)』に参加しており、LMS(Learning Management System)として moodle を導入している。本レポートは、2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日)の

moodle 利用状況を報告するものである。

1. コースの利用状況

表1に2017年度の moodle 上で公開されたコースについて報告する。

表1. 学部等別の科目の moodle 利用率・登録ユーザの利用率(下段：2016年度実績)

2017年度	moodle 準備 科目数(A)	moodle 利用 科目数(B)	moodle 利用率 (B/A)	利用科目への登 録ユーザ数(C)	科目にアクセスし たユーザ数(D)	登録ユーザの 利用率(D/C)
共通教育科目	554 (591)	25 (18)	4.5% (3.0%)	1,778 (960)	1,394 (603)	78.4% (62.8%)
人文社会科学部/ 人文学部専門科目	551 (548)	12 (0)	2.2% (0.0%)	325 (0)	267 (0)	82.2% (-)
教育学部専門科目	1,191 (1,225)	4 (1)	0.3% (0.1%)	211 (141)	145 (75)	68.7% (53.2%)
医学部専門科目	283 (304)	16 (4)	5.7% (1.3%)	1,466 (483)	1,239 (446)	84.5% (92.3%)
地域協働学部専門 科目	100 (55)	0 (0)	0.0% (0.0%)	0 (0)	0 (0)	--- (-)
理工学部専門科目 /理学部専門科目	434 (377)	23 (24)	5.3% (6.4%)	831 (864)	693 (643)	83.4% (74.4%)
農林海洋科学部専 門科目/農学部専 門科目	540 (532)	15 (4)	2.8% (0.8%)	905 (289)	714 (206)	78.9% (71.3%)
土佐さきがけプロ グラム専門科目	95 (98)	17 (11)	17.9% (11.2%)	328 (183)	161 (83)	49.1% (45.4%)
全学開設科目	7 (8)	0 (0)	0.0% (0.0%)	0 (0)	0 (0)	--- (-)

その他(修士課程 大学院科目)	23 (29)	0 (0)	0.0% (0.0%)	0 (0)	0 (0)	---	(-)
その他(博士課程 大学院科目)	0 (0)	0 (0)	---	0 (0)	0 (0)	---	(-)
土佐さきがけプロ グラム(修士課程 大学院科目)	0 (10)	0 (0)	---	0 (0)	0 (0)	---	(-)
人文社会科学専攻 (修士課程 大学 院科目)	0 (44)	0 (0)	---	0 (0)	0 (0)	---	(-)
教育学専攻(修士 課程 大学院科目)	378 (392)	0 (0)	0.0% (0.0%)	0 (0)	0 (0)	---	(-)
医科学専攻(修士 課程 大学院科目)	106 (104)	0 (0)	0.0% (0.0%)	0 (0)	0 (0)	---	(-)
医学専攻(博士課 程 大学院科目)	336 (329)	1 (1)	0.3% (0.3%)	124 (1)	119 (0)	96.0% (0.0%)	
看護学専攻(修士 課程 大学院科目)	74 (64)	0 (0)	0.0% (0.0%)	0 (0)	0 (0)	---	(-)
理学専攻(修士課 程 大学院科目)	466 (409)	3 (3)	0.6% (0.7%)	13 (21)	11 (21)	84.6% (100%)	
応用自然科学専攻 (博士課程 大学 院科目)	206 (213)	0 (0)	0.0% (0.0%)	0 (0)	0 (0)	---	(-)
農学専攻(修士課 程 大学院科目)	959 (943)	0 (0)	0.0% (0.0%)	0 (0)	0 (0)	---	(-)
黒潮圏総合科学専 攻(博士課程 大 学院科目)	60 (86)	0 (0)	0.0% (0.0%)	0 (0)	0 (0)	---	(-)
その他	13 (16)	4 (11)	30.8% (68.8%)	138 (1,020)	125 (660)	90.6% (64.7%)	
オープンコンテンツ	4 (4)	4 (4)	100.0% (100.0%)	8 (21)	6 (17)	75.0% (81.0%)	
講習・研修用	15 (4)	15 (3)	100.0% (75.0%)	30,304 (116)	1,555 (108)	5.3% (93.1%)	

(A) moodle 準備科目数は、高知大学で開講されてい
る全授業科目(シラバスに掲載された科目)及び、
「その他」・「オープンコンテンツ」・「講習・研修用」
の科目(シラバス掲載外の科目)を加えた数であ
る。本学では moodle を利用したいと思う教員が
いつでも利用を開始できるよう、履修登録期間に
合わせ、学期ごとの履修学生データ・授業科目デー
タ・授業担当教員データを moodle 上に登録して
いる。なお、各コースに登録されたユーザが当該
コースを利用するには、コースを公開する必要が
ある。

(B) moodle 利用科目数(公開コース数)は、実際に公
開されたコース数である。

(C) 利用科目への登録ユーザ数は、(B)に登録された
ユーザ数である。この数は教職員・学生を区別し
ていない。

(D) 科目にアクセスしたユーザ数は、moodle にログ
イン後、各リソースに対してなんらかの操作を
行ったことのあるユーザ数を示している。

結果

科目の moodle 利用率(全科目中の公開されたコースの割合)はどの学部においてもたいへん少ないものの、本年度の利用科目数は、教育学部・医学部・農林海洋科学部(農学部含む)では、前年度から約4倍に増えている。また、前年度は利用科目がなかった人文社会科学部(人文学部含む)は、本年度12科目に増えている。まったく利用していない学部も地域協働学部1学部のみとなった。なお、大学院科目では、前年度と同様に利用率の伸びは見られなかった。

一方、登録ユーザの利用率(公開されたコースに登録されたユーザが実際にコースにアクセスした割合)は非常に高い。共通教育、教育学部、理工学部(理学部含む)で10%を越える利用率の増が見られる。医学

部は8%減ではあるが、科目数が倍増しているため、トータルでは増加していると言える。人文社会科学部は本年度から初めて moodle を利用しているが、登録ユーザの利用率が82%を越えており、利用率は非常に高い。なお、講習・研修用の登録ユーザの利用率が87%減となったのは、本年度は同項目内に全教職員対象のコースがあり、当コースの利用ユーザ数16,603名(全教職員)に対して、ユーザの利用率が4%であったことが大きく影響している。

2. アクセス状況

表2に2017年度のユーザ種類別の利用率・ログイン回数・アクセス数について報告する。

表2. 2017年度ユーザ種類別の利用率・ログイン回数・アクセス数(下段:2016年度実績)

2017年度		合計	本学学生	本学教職員	連携大学ユーザ
ユーザ数(E)		17,006 (14,948)	12,254 (10,937)	4,363 (3,935)	389 (76)
ログインしたユーザ数(F)		3,852 (1,880)	2,458 (1,482)	1,017 (347)	377 (51)
利用率(F/E)		22.7% (12.6)	20.1% (13.6)	23.3% (8.8)	96.9% (67.1)
延べログイン数(G)	第1学期	42,012 (19,753)	28,002 (17,351)	3,405 (2,288)	10,605 (114)
	第2学期	30,305 (15,152)	26,049 (12,584)	3,894 (2,155)	362 (413)
延べアクセス数(H)	第1学期	896,476 (410,683)	559,841 (339,454)	138,961 (68,253)	197,674 (2,976)
	第2学期	464,669 (257,348)	358,185 (193,581)	99,620 (54,374)	6,864 (9,393)
ログインあたりのアクセス数 (H/G)	第1学期	21.3 (20.8)	20 (19.6)	40.8 (29.8)	18.6 (26.1)
	第2学期	15.3 (17)	13.8 (15.4)	25.6 (25.2)	19 (22.7)

(E) ユーザ数は、moodle 上に登録されているユーザの数である。全学認証 ID の登録数を数えた。本学学生、本学教職員、連携大学ユーザの3種に分けた。連携大学ユーザ数とは、本学が知プラ e 事業として提供している共同実施科目へ登録している連携大学のユーザ数である。

(F) ログインしたユーザ数は、全学認証 ID を使ってログインしたことのあるユーザの数である。

(G) 延べログイン数は、全学認証 ID を使ってログインする度にカウントされる数である。複数回ログインした場合は、それぞれを数えている。

(H) 延べアクセス数は、moodle ログイン後、各リソースに対して何らかの操作を行った数である。ページを閲覧する、動画を開く、小テストを受験するなどがこれにあたる。ログイン回数、アクセス数は、第1学期・第2学期それぞれの数を数えた。

結果

登録されている全ユーザ数に対し、実際にログインしたことがあるユーザは20%を越えた。連携大学ユーザの利用率は、知プラ e 科目受講のためなので高く、共同実施科目が増加したこともあり、利用者数は5倍増であった。

ログインあたりのアクセス数は、ログイン後にどの程度の活動を行ったかの目安である。本学学生、教職員のこの値が、第1学期から第2学期で減少していることが特徴であった。

考察

表1、表2の結果に加え、教職員のログイン数が約3倍になったことから、moodle を利用する科目数の増加の一因として、教職員の moodle 利用者の増加が考えられる。また、moodle を利用する学生数が昨年度から約1000人増加したことは、moodle を利用する科目が増えたためと考えられる。教職員の moodle 利用者の増加については、各学部で「moodle 講習会（教員対象）」および大学連携 e-Learning 教育支援センター四国の平成29年度スキルアップ研修会「moodle 講習会（教職員対象）」（本学開催）を実施したことの効果と考えられる。講習会を受けて利用方法を理解していくことや moodle を身近な教員が利用することで、moodle 利用のハードルが下がり、利用を開始する教員や利用科目を増やす教員が生じている可能性もある。

本学の moodle で開講される知プラ e 科目が1科目から4科目に増加したこともあり、他大学のユーザ数は約5倍に増えている。知プラ e 科目の増加が、利用者数等の増加に貢献していると考えられる。

ログインあたりのアクセス数の変化は少なく、減少しているところがある。特に、連携大学の学生は第1学期、第2学期ともログインあたりのアクセス数が昨年度より減少している。本学の知プラ e 科目の受講生では、リピーターが多い傾向にあるため、moodle を使い慣れたことから、少ないログイン回数で効率よく受講している学生が増加していることが考えられる。同

様のことが連携大学の学生に生じている可能性がある。

なお、本年度に開講された知プラ e 科目38科目のうち34科目が、他大学の moodle で開講されている。他大学の moodle を利用して知プラ e 科目を受講した高知大生の数は、昨年度から3倍以上に増加していることから、高知大生の延べ moodle 利用率は高いと予想される。